



面接練習に思う

学校長 井川 勝博

今年にはいり、もうひと月が終わりました。2月に入り、少し日が長くなったように思いますが、まだまだ寒い日が続いています。

1月半ばより、入試に面接がある生徒（のべ90名ほど）の面接練習を校長室で行いました。面接中の姿勢や言葉使い、服装や目線まで見させていただきました。また、質問に対する答え方はもちろんのこと、内容もしっかり聞かせていただいています。ほとんどのみなさんは、ここに来るまでにしっかり予備練習やイメージトレーニングもしてきたのでしょうか。服装、姿勢もきちんとし、受け答えもしっかりしていました。

そのなかで、「なぜこの学校を志望したのか?」「ここで何を学びたいのか?」という質問に堂々と答えてくれた人に感心しました。数ある高等学校の中からなぜこの学校を選んだのか、またなぜこのコースなのか。自分の意思をしっかり持っている人は、入学してからも頑張っていけるはずで、逆に、希望校に入学しても、そのことがゴールとなってしまえば、そこで成長が止まってしまうことになります。

また、最近は夢や目標を持っている生徒が少ないということを知ることがありますが、しっかり自分の将来の目標を語ってくれた人は多かったように思います。不思議なことに、自分の目標をしっかり語っているときは、こちらの目をしっかりみて話をしてくれます。そしてその目がとても輝いている印象を受けました。先ほどの話にもつながることですが、自分の夢や目標をかなえるために、この学校に入学したい、ここでこんなことを学びたい、という思いは、次の努力につながります。もしかしたら、その思いが強いほど、努力も大きくなるのかもしれませんが。目標が変わったり、かなわなかったとしても、努力したことは自分を成長させたことに違いはありません。

ただ夢や目標がなければダメだというわけではありません。目標がないからこそ、この学校で見つきたいです。この学校で頑張れば目標を見つけられると思います。と、強い思いを語ってくれた人もいました。つまりは、自分が頑張るための目標もあるのではないかと、ということです。

～入試に向かっている3年生の皆さんへ～

受験生と呼ばれる皆さんは、ここまでも一生懸命取り組んでこられたことでしょうか。そして、不安を抱えたり、悩んだりもしたことでしょうか。さらに、いまは入試直前ということもあり、不安な気持ちも大きくなっている人もいるのではないのでしょうか。そのなかでも懸命に努力を続けている人も多いと思います。努力を続けている人ほど、目標達成に近づくことは確かです。そして、これからの自分につながるはずで、厳しい冬であるほど、春の訪れははともううれしいものです。周りの人はきっと皆さんを応援してくれています。私もその一人です。一人ひとりの受験生を応援しています。

「試験当日の不安を解消する薬は、それまで頑張ってきた自分の努力を信じることです。」